

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		東洋美術史Ⅰ History of Oriental Art I				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 竹浪 遠	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
中国絵画は古代以来の歴史があり、伝統の上に創造が加えられることで豊かな展開を遂げてきた。東洋美術史Ⅰでは、その始まりから唐代までを現存作品と関連文献によってたどってみたい。特に美術史学の特徴である作品からのアプローチを重視し、各時代の代表作例を軸に論じていきたい。日本絵画へ与えた影響も大きく、我々自身の文化的土壌を知る機会にもなるだろう。各回ごとに講義レジュメを配布し、関連作品をプロジェクターで紹介する。設問も交えつつ、作品の主題や表現、時代背景などを解説する。									
[到達目標]									
中国絵画史に関する基礎的な知識と研究方法を習得し、美術研究はもとより制作や鑑賞にも活用できるようにすることを目標とする。									
[授業計画と内容]									
1. ガイダンス 2. 美学と芸術・美術 3. 中国における芸術・美術の概念 4. 中国美術を学ぶための基礎知識 5. 中国美術の黎明1 新石器時代～殷周 6. 中国美術の黎明2 春秋戦国 7. 古代帝国の造形1 秦 8. 古代帝国の造形2 前漢 9. 古代帝国の造形3 後漢 10. 人物画の発達と画の六法 魏晉南北朝1 11. 山水画の誕生 魏晉南北朝2 12. 道釈人物画の隆盛 隋～唐1 13. 盛唐における山水の変 唐2 14. 水墨画の成立と樹石画 唐3 定期試験 フィードバック									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
レポート：7割 授業参加状況と小課題：3割									
-----東洋美術史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓-----									

東洋美術史Ⅰ(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

『世界美術大全集 東洋編』（小学館）（全17巻、1997～2001年。）

曾布川寛監修『中国書画探訪―関西の収蔵家とその名品―』（二玄社）（関西中国書画コレクション研究会編、2011年。）

宇佐美文理『中国絵画入門』（岩波書店）（岩波新書、2014年。）

[授業外学修（予習・復習）等]

日ごろから博物館・美術館・社寺などに出かけ、美術作品を実際に見てもらいたい。また、『論語』、『莊子』など中国の代表的な古典に親しんでほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

毎回配付する講義レジュメは、小課題にも使用するので、取り忘れが無いように注意すること。復習にも使うので、1、2回前の分も持ってくるのが望ましい。